昔の駒場大ニュース!!

日日23日
発行日 12月23日
発行者 坂本稟太郎

駒場の昔はどんな様子?

駒場は牧場の一部でした。牧場の入口は、門前のあたりで今は神社になっています。駒場は、今はお店はありませんが、昔の駒場には文ぼう具屋さんが二けん、豆ふ屋さんが三けんありました。あと、かじ屋さんと馬てい屋さんが一けんずつありました。馬ていを馬の足にくぎを打ったのです。

てくっつけるそうです。馬は足にくぎを打たれてもいたくないそうです。ブタ屋もありました。ブタに生ゴミを食べさせていたそうです。当時は、今よりも物のねだんが安くて、ノート十円で買えたそうです。一日はたらいて、もらえるお給料は二百五十円ほどだったそうです。

きょうの里の昔は?

今、きょうの里がある場所は、昔は駅で電車が走っていました。今は、バスターミナルとして使われています。約二千本のきょうの花が植えられていて、夏にきれいな花をさかせています。ぼくたちも学校でききょうの花を育ててみました。むらさきと白のきれいな花がさきました。

昔の小学校は?

駒場小学校の始まりは今から百十二年前の明治四十三年です。駒場小学校は、光和小学校、上然別小学校、東中士幌小学校、豊田小学校、南中音更小学校の六つの学校がくっついています。駒場小学校は、これまでに五回引っこしをしています。校長先生は、これまで二十四人かわっていて、最初の校長先生は、森忠雄校長だったそうです。